

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	基礎プログラミングおよび演習		
英文授業科目名	Fundamental Programming		
開講年度	2007年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	野下 浩平		
居室	西9 - 440		

公開E-Mail	授業関連Webページ
noshita@cs.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
コンピュータの動きを理解し、ソフトウェアづくりの基礎的な考え方を習得するために、プログラムの初歩的な書法と技法、ならびに言語の規則について学ぶ。なお、本科目は単にプログラミングのノウ・ハウを与えるものではなく、情報工学科の上級科目を理解し、問題解決の基盤となる思考方法を養うことを目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】
コンピュータリテラシー

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
プリントを配布する。

【授業内容とその進め方】

前学期のコンピュタリテラシに引き続く形で、講義と演習とを歩調を合せて進行する。プログラミング言語はC言語を用いるが、これは様々な分野において実用的な言語としてCが広く利用されているからである。

主要な内容は次の通りであるが、講義の順序はこの通りではなく、本学科として必要と思われる例題を適宜おりませて講義を進める。

1. コンピュタリテラシーの復習，繰り返しと場合分け

2. 基本的な制御構造のまとめ

3. 1～2に対応する演習

4. 構造を持つデータ(1) 1次元配列

5. 4に対応する演習

6. 構造を持つデータ(2) 2次元配列

7. プログラムの分割 関数(1)，引数

8. 6～7に対応する演習

9. プログラムの分割 関数(2)，ブロック

10. 構造を持つデータ(3) 構造体

11. 構造を持つデータの組み合わせ

12. 9～11に対応する演習

13. 再帰

14. 説明し残した機能

15. 12～14に対応する演習

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

演習のレポート(50%)，および2月の期末試験の成績(50%)で評価する。

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

(1) 基本的なデータ型と演算に関して理解していること。

(2) 手続き・関数の動作, 役割を理解していること。

(3) 構造を持つデータを適切に扱うことができること。

(4) 課されたレポートのすべてを提出していること。

(5) レポートの内容については，与えられた問題に関してプログラムを作成, 実行し, 結果に関する考察がきちんとなされていること。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。授業時間のあとなどに連絡してください。

【学生へのメッセージ】

出席しましょう。

【その他】